

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ミュージックジョブ2(ダンス史)	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	三山慶人・野中志乃・藤田麻友美		実務経験の有無・職種	無し	
学習目的					
この科目を受講する学生は、ダンスを職業にする為に必要なストリートミュージック、クラシックミュージック、ポピュラーミュージックなどの音楽的知識やダンスの歴史を幅広く学び音楽に対する理解力と造詣をを深める。					
到達目標					
この科目では、学生が、自分たちが踊る楽曲がどんな背景から生まれた曲かを理解する事で、表現力を高めるための知識を身に付ける。またダンスがどのように進化してきたかの歴史を知る事で、振付けなどクリエイティブな作業のアイデアや増やし、新たな創造につなげる。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、音楽への造詣を深める為の各テーマにそった音楽の歴史を学ぶ講義と、実際に映像を使って作品を鑑賞する事でより感覚的に知識を身に付ける授業を行う。またディスカッションや、授業後半で振り返りレポートを作成する事で理解力を深める。				
注意点	この授業では、常にクリエイター、ダンサーとしてのイメージを持って講義に臨み、自分の作品作りや振付時の楽曲選びのアイデアを増やすなど、能動的に知識を吸収する事を心がける。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	フリースタイルの表現3	前回授業の内容に基づき、各グループのフリースタイルについて発表を行う			
2回	ミュージカル・舞台でのダンス1	舞台表現の中でのダンス、求められるスキル①			
3回	ミュージカル・舞台でのダンス2	舞台表現の中でのダンス、求められるスキル②			
4回	ミュージカル・舞台でのダンス3	オーディションに受かるためのダンスとは、を考える			
5回	R&Bミュージックの歴史1	ソウルミュージック、ディスコミュージックの歴史			
6回	R&Bミュージックの歴史2	R&B、R&B HIPHOPの歴史			
7回	スーパーキッズダンサー	現在のキッズダンスのレベルを知り、指導者になった際に必要なスキルを考える			
8回	部活動としてのダンス	現在の部活動でのダンスの現状を知り、指導者になった際に必要なスキルを考える			
9回	オーディション対策	オーディション用の見せ方を考えてみる			
10回	オーディション対策	オーディション用のパッケージを作る			
11回	HOUSE、EDMの歴史	ハウスミュージックの歴史やヨーロッパのダンスシーンを研究する			
12回	JAZZダンスの歴史まとめ	エンターテインメントの代表的なジャンルであるJAZZダンスの歴史を総括する			
13回	バレエ、コンテンポラリーの歴史	クラシックへの造詣を深める			
14回	HIPHOPミュージックまとめ	世界的にも最も人気のあるジャンルとなったHIOHOPダンスの歴史を総括する			
15回	ポピュラーミュージックとダンス	現在メディアで必要とされるダンサー像をポピュラーミュージックの歴史から学ぶ			